

報道関係者各位



AIRMOBILITY

2022年3月9日

エアモビリティ株式会社

「空飛ぶクルマ」の運航サービスプラットフォームを提供するエアモビリティ株式会社が  
日本特殊陶業株式会社から資金調達を実施

エアモビリティ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長&CEO：浅井 尚）は、日本特殊陶業株式会社（本社：愛知県名古屋市瑞穂区、社長：川合 尊、以下、「日本特殊陶業」）を引受先とする第三者割当増資により、資金調達を実施いたしましたのでお知らせいたします。

【資金調達の目的】

「空飛ぶクルマ（eVTOL\*1）」は、次世代モビリティとして世界各国で開発が進められています。日本でも経済産業省による「空の移動革命に向けたロードマップ」\*2において、2020年代半ばからの事業スタート、2030年代からの実用化の拡大が掲げられ、都市部での渋滞軽減、離島、山間部での移動手段、災害時の救急搬送などの活用が期待されています。

当社は、「空飛ぶクルマ」を安全、容易かつ安価に航行・利用するためのサービスの提供を目的とし、ナビゲーションシステムなどのインフラプラットフォームの開発をはじめ、海外の「空飛ぶクルマ」メーカーの日本市場参入の支援等を行っております。

今回調達した資金により、財務基盤の強化を図るとともに、インフラプラットフォーム開発の加速と、それに伴う組織体制、開発体制の更なる強化などに活用し、「空飛ぶクルマ」社会の実現に向け事業化を進めてまいります。

自動車部品等業界において培われた高い技術力や優れた品質力、製造ノウハウ、グローバルなネットワーク等を有する日本特殊陶業との協業を通じて、当社は事業化推進を加速してまいります。

\*1：eVTOL（Electrical Vertical Take-Off and Landing）、電動垂直離着陸機ともいう。

\*2：経済産業省と国土交通省による「空の移動革命に向けた官民協議会」内で取りまとめられたロードマップ。

【日本特殊陶業株式会社について】

日本特殊陶業は、世界トップクラスのスパークプラグ、ニューセラミックス製品のメーカーで、自動車産業をはじめ、環境・エネルギー、医療、情報通信など多くの分野において製品が使用されています。同社は、「2030 長期経営計画日特 BX」において、モビリティ事業を今後注力する分野の一つと位置づけ、新たなモビリティに対する世の中のニーズや同社の技術および開発力の応用可能性を探り、手軽で、楽しく、便利な移動体社会への貢献を目指しています。

【エアモビリティ株式会社のこれまでの取り組み】

- ・ [三重県にて日本初となる「空飛ぶクルマ」のナビゲーションシステム「AirNavi」の実証実験を実施](#)  
(2021年12月)
- ・ [米国の「空飛ぶクルマ \(eVTOL\) 」メーカーBartini \(バルティニー\) 社と独占販売契約に基本合意](#) (2021年10月)
- ・ [スイスの「eVTOL \(空飛ぶクルマ\) 」メーカー Dufour Aerospace 社と代理店契約を締結](#) (2021年6月)

【会社概要】

会社名：日本特殊陶業株式会社

代表者：代表取締役会長 尾堂 真一

：代表取締役社長 社長執行役員 川合 尊

所在地：愛知県名古屋市瑞穂区高辻町 14-18

URL：<https://www.ngkntk.co.jp/>

会社名：エアモビリティ株式会社

代表者：代表取締役社長&CEO 浅井 尚

所在地：東京都港区赤坂 3-5-5 ストロング赤坂ビル 9F

URL：<https://www.airmobility.co.jp/>

【お問い合わせ先】

エアモビリティ株式会社 経営戦略本部

TEL: 03-6273-1288 / FAX: 03-6273-1289 / E-mail: info@airmobility.co.jp